

イノベーション &アントレプレナーシップ

参加者募集

innovation & entrepreneurship

DX(Digital Transformation)を原動力とするイノベーション(技術革新)は、その勢いを増しながら産業構造と企業戦略の変革をもたらしている。その変革は社会や企業の在り方にも見直しを迫っており、アントレプレナーシップ(創造意欲に燃え、リスクを恐れず挑戦する姿勢)を有する人材を生み出している。この流れは大企業からスタートアップ企業まで幅広く浸透しつつあり、製造業・情報産業・建設業・インフラ産業・サービス業など、分野を問わず拡大している。本講座では、第一線で技術革新を実践されている企業の方や、社会システムにおける起業・変革に取り組まれている新たなリーダーの方を講師に迎え、それぞれの現場での取り組みをご紹介頂くことで、ブレイクスルーを志す学生・社会人に飛躍のヒントを提供するとともに、グローバル時代に必要な心構えを身に付ける。

●実施日時

令和7年

9月27日(土)
10月 4日(土)・18日(土)
11月15日(土)
12月 6日(土)・20日(土)

令和8年

1月10日(土)

13:00 - 16:35

●実施場所

サテライトキャンパスひろしま
広島市中区大手町1丁目5-3

●応募要項

募集対象 | 大学3年次生以上、大学院生 及び 現役社会人

募集人数 | 40人程度
応募が多い場合は、抽選等により決定いたします。

応募方法 | 本学HPの申込フォームより必要事項を記入のうえ、希望の講義日にお申込みください。
<https://www.it-hiroshima.ac.jp/career/lecture/global/>

受講料 | 無 料

募集期限 | 各講義の2週間前まで

受講要件 | ●広島県内に居住されている方
●ノートPCまたはタブレットを持参できる方
※講義内で使用します



プログラム概要

本講座は、「技術革新による事業戦略の転換」、「グローバル時代のコミュニケーション」、「テクノロジーを活用した起業」の3部で構成される。
 なお、講義は座学に偏らず、講師及び受講者を交えた討論や、グループワークなどの体験的な演習などを取り入れながら、知識を身に付ける。

イノベーション&アントレプレナーシップ

区分	内容	講師	日時
第1部 技術革新による事業戦略の転換	第1回 「Connected Company」の目指すもの —大学と企業のシームレス化— 大卒新入社員の3年以内離職率が30%を超える中、入社後のアンマッチを少しでも避けるため、大学生と異業種社会人が交流し、本音で語り合う場の活動をご紹介します、「学ぶこと」～「働くこと」の目的や面白さを考えてみる。	Connected Company (富士フイルムビジネスイノベーション ジャパン株式会社 広島支社) 石岡 満 Connected Company (一般社団法人WES) 代表理事 信濃 晋介	令和7年 9月27日(土) 13:00～14:40
	第2回 顧客価値を起点としたマツダの商品企画について 「100年に一度の大変革期」と言われる自動車業界では、電動化やデジタル化など、急速な変化への対応が求められている。この変革期を乗り越えるために、商品企画の課題と対応の方向性を顧客視点を軸に考え、議論する。	マツダ株式会社 電動化事業本部 (e-MAZDA) 商品企画チーム 板谷 朋幸	令和7年 9月27日(土) 14:55～16:35
	第3回 DXによる建設業の変革と竹中工務店の事業戦略 建設業界では、生産性向上などの課題に対応するため、デジタル技術とデータの高度活用による事業の変革 (DX) が急務である。竹中工務店の取組みを事例として紹介し、これからの建築とまちづくりについて考える。	株式会社竹中工務店 デジタル室 デジタル企画グループ長 金澤 英紀	令和7年 10月4日(土) 13:00～14:40
	第4回 価値観データを用いた顧客体験価値創造 消費者の価値観をどのようにデータ化して、製品デザイン設計やコミュニケーション施策に反映していくのか。事例を交えて、顧客理解の重要性と最新のマーケティング手法を学ぶ。	シナジーマーケティング株式会社 事業戦略グループ マーケティングプロデューサー 和田 直之	令和7年 10月4日(土) 14:55～16:35
	第5回 DXによる、お多福グループの改革 食品業界やおたふくソースの業務特性を踏まえたデジタル化事例の紹介を通して、おたふくが業務プロセスの課題をDXの視点でどのように課題解決にチャレンジしたのかを学ぶ。	オタフクホールディングス株式会社 執行役員 IT推進部 部長 岡本 侯子	令和7年 10月18日(土) 13:00～14:40
	第6回 少量多品種製品製造におけるデジタルトランスフォーメーション 日本が得意とする匠の技が光るモノづくり、生産性の向上とともにその価値をDXでさらに高めるには、様々な商品分野におけるマスカスタマイゼーションの視点を基にDXファクトリーの在り方を実践的に探ります。	株式会社TD Holdings デジタルイノベーション事業部 執行役員 COO 越智 稔	令和7年 10月18日(土) 14:55～16:35
第2部 グローバル時代の コミュニケーション	第7回 グローバルな人材とは —相互理解の心構え— グローバル化が進展する中で、日本社会の特質を踏まえたうえで異なる文化や価値観をもつ人々に接する際の心構えを理解する。更には、それらの人々と共に働き暮らすために身に付けるべき基本的態度について学ぶ。	県立広島大学 地域基盤研究機構 教授 上水流 久彦	令和7年 11月15日(土) 13:00～14:40
	第8回 ビジネスマナーとコミュニケーション AI・IoTといった技術・産業の革新が進む現代、忘れてはいけないのが人としてのあり方です。当たり前だと思いがたはたして出来ているでしょうか。ノンバーバルコミュニケーションの理解とマナーの本質を知ること、真のマナー力を身につけ、情報が広がる世界の中でひとにしか作れない、感動を創造できるひとを目指していきたいと思います。	インターナショナルエアアカデミー 広島校 校長 崔 希美	令和7年 11月15日(土) 14:55～16:35
第3部 テクノロジーを活用した 起業	第9回 起業とは。福岡・佐賀における半導体ビジネス戦略 起業とは？ 会社を起すこと、人を雇用すること？ 技術の種を育てて、世の中に広げていくこと？ 何歳 (何年) でどのくらいの年収 (売上) だと幸せ (成功) でしょうか？ IT・半導体を例にリーダーの視座についてお話します。	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 CDEC センター長 石川 洋平	令和7年 12月6日(土) 13:00～14:40
	第10回 ゼロからはじめる「拠点開拓」という挑戦:XRで切り拓く社内ベンチャーのリアル XR (VR/MR/AR) やデジタルツインなどの先端技術を活用し、ゼロから地方拠点を立ち上げた「社内ベンチャー」のリアルな挑戦を紹介します。新たな市場を切り拓くプロセスを通じて、最先端技術がビジネスにどのように活用されているのか、これからの時代の働き方やキャリアの可能性について考えていきます。	株式会社ビーライズ 大阪営業所責任者 小笠原 海人	令和7年 12月6日(土) 14:55～16:35
	第11回 ベンチャーキャピタルの視点 —投資したくなる起業— 事業を始める上で必ず必要になるお金の話。リスクの高い創業期は銀行借入だけで大きなお金を調達するのは困難。ではベンチャーキャピタルにとって投資をしたくなる会社とはどのような会社なのかを考えます。	株式会社チェンジ鹿児島 代表取締役 中垣 雄	令和7年 12月20日(土) 13:00～14:40
	第12回 東京電力発のベンチャー企業の狙い —分散コンピューティングと再エネの融合— 「再エネとかがけてビットコインと解く」。その心は「両者ともカーボンニュートラル実現のために有効な技術」である。大学で原子力を専攻し東京電力に入社した講師が、スタンフォード大学へのMBA留学を経て、革新的な社内ベンチャー設立に至った波瀾万丈記について熱く語る。	株式会社アジャイルエナジーX 代表取締役社長 立岩 健二	令和7年 12月20日(土) 14:55～16:35
	第13回 スタートアップ企業の展開と生成AIビジネスへの取り組み コンサルティング業界におけるスタートアップ企業の設立と展開を経験をもとに紹介する。更に、新たに設立した企業で取り組む生成AIビジネスの社会的意義を共有し、これからの学び・研究・仕事に必須となる生成AIの活用方法を説明する。	株式会社 Village AI 代表取締役 里 洋平	令和8年 1月10日(土) 13:00～14:40
まとめ	第14回 『起業しよう!』 13回の講座を振り返り、各産業現場で進展するイノベーションによる企業戦略の変化、新しいビジネスに挑戦する姿勢、そしてグローバル時代のコミュニケーション力について理解を深め、新時代の技術者となるためのアクションを考える。	広島工業大学 村上 修二 福島 千晴	令和8年 1月10日(土) 14:55～16:35